

福島第一原子力発電所の状況

平成 23 年 12 月 10 日
東京電力株式会社

<タービン建屋地下のたまり水の処理>

高濃度の放射性物質を含むたまり水の処理設備及び貯蔵設備の状況

[処理設備]

- ・6/17 20:00 放射性物質除去装置の本格運転を開始。
- ・6/24 12:00 淡水化装置(逆浸透膜型)における処理を開始。
- ・6/27 16:20 循環注水冷却を開始。
- ・8/7 16:11 蒸発濃縮装置の本格運用を開始。
- ・8/19 19:33 第二セシウム吸着装置(B系ライン)を起動し、セシウム吸着装置および除染装置との並列運転によるたまり水の処理を開始。19:41 定常流量に到達。

[貯蔵設備]

- ・6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

トレンチ立坑・各建屋地下のたまり水の移送状況

号機	排出元	移送先	移送状況
1号機	・1号機タービン建屋	2号機タービン建屋	・12/10 14:00～移送実施中
2号機	・2号機タービン建屋	集中廃棄物処理施設[雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・11/30 18:03～移送実施中
3号機	・3号機タービン建屋	集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋]	・11/15 9:25～12/5 10:31
6号機	・6号機タービン建屋	仮設タンク	・12/8 10:00～12/9 16:00 移送実施

移送先	移送先の水位状況 (12/10 7:00 時点)
プロセス主建屋	水位: O.P.+ 1,929 mm(水位上昇累計:3,146 mm) 12/9 7:00 から 107 mm 下降
雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)	水位: O.P.+ 1,158 mm(水位上昇累計:1,884 mm) 12/9 7:00 から 55 mm 下降

トレンチ立坑・タービン建屋・原子炉建屋の水位 (12/10 7:00 時点)

	トレンチ立坑	タービン建屋	原子炉建屋
1号機	O.P. <+ 850mm (12/9 7:00 と同じ)	O.P.+ 3,697 mm (12/9 7:00 から 30 mm 上昇)	O.P.+ 3,925 mm (12/9 7:00 から 87 mm 下降)
2号機	O.P.+ 2,791 mm (12/9 7:00 から 28 mm 下降)	O.P.+ 2,814 mm (12/9 7:00 から 25 mm 下降)	O.P.+ 2,944 mm (12/9 7:00 から 25 mm 下降)
3号機	O.P.+ 3,269 mm (12/9 7:00 から 18 mm 上昇)	O.P.+ 3,035mm (12/9 7:00 から 18 mm 上昇)	O.P.+ 3,260 mm (12/9 7:00 から 19 mm 上昇)
4号機	-	O.P.+ 3,018mm (12/9 7:00 から 11 mm 上昇)	O.P.+ 3,037 mm (12/9 7:00 から 15 mm 上昇)

<放射性物質のモニタリング>

海水核種分析結果(参考値)

採取場所	採取日	採取時間	濃度限度比(倍)		
			ヨウ素-131	セシウム-134	セシウム-137
福島第一 5,6号機放水口北側約 30m	12/9	8:40	ND	0.05	0.04
福島第一 1～4号機放水口南側約 330m	12/9	8:20	ND	0.02	0.04
福島第二 3,4号機放水口付近	12/9	8:25	ND	ND	0.01

・その他、福島第一原子力発電所沿岸 1 地点(12/9 採取分)、沖合 2 地点(12/8 採取分)における主要 3 核種(ヨウ素-131、セシウム-134,137)は全て ND。

<使用済燃料プールの冷却> (12/10 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中(8/10 11:22～)	14.0
2号機	循環冷却システム	運転中(5/31 17:21～)	31.3
3号機	循環冷却システム	運転中(6/30 18:33～)	14.9
4号機	循環冷却システム	運転中(7/31 10:08～)	21

[2号機]・12/10 11:37 使用済燃料プール代替冷却システムを再起動。

[4号機]・11/29～ 使用済燃料プールの塩分除去のため、イオン交換装置の運転を開始。

<原子炉压力容器への注水・原子炉の状況> (12/10 11:00 時点)

号機	注水状況	給水ノズル温度	原子炉压力容器下部温度	原子炉格納容器圧力
1号機	淡水注入中 (給水系:約4.2m ³ /h, 炉心スプレイ系:約1.0 m ³ /h)	43.3	44.4	111.1 kPaabs
2号機	淡水注入中 (給水系:約2.8m ³ /h, 炉心スプレイ系:約5.2 m ³ /h)	71.3	78.1	113 kPaabs
3号機	淡水注入中 (給水系:約2.1 m ³ /h, 炉心スプレイ系:約6.0 m ³ /h)	59.5	66.4	101.6 kPaabs

[1号機]・12/10 10:09 原子炉への注水について、給水系に加え、炉心スプレイ系からの注水を開始。

10:11 炉心スプレイ系からの注水量を約 1.0 m³/h へ調整。(給水系からの注水量は約 4.2 m³/h で継続)

[2号機]・12/10 11:25 原子炉への注水量について、炉心スプレイ系からの注水量を約 4.5m³/h から約 5.5 m³/h へ調整。(給水系からの注水量は約 2.9 m³/h で継続。)

[3号機]・12/6 10:00～12/7 8:54 原子炉注水の信頼性向上の一環として、3号機復水貯蔵タンクを利用した1～3号機原子炉注水設備を構築する予定であるが、同タンク内の残水の塩分濃度を測定したところ、塩分濃度が高いことが判明。塩分濃度を下げするため同タンクの残水を減らした上で給水することとした。給水に先立ち、同タンクから同号機タービン建屋地下への残水の移送を実施。

12/7 9:19頃 同タンク内に水張りを開始。その後、同タンクにつながっているホースの接続部より水が漏れいしていることを確認(約5L)、9:52頃、水張りを停止し、水の漏れいが停止していることを確認。

12/9 9:05 当該ホースの交換を終了し、水張りを再開。

9:25 水張りラインの漏れい確認を終了。

19:00 水張りを終了。

・12/10 11:25 原子炉への注水量について、給水系からの注水量を約 2.2m³/h から約 3.2m³/h へ調整。(炉心スプレイ系からの注水量は、約 6.0 m³/h で継続。)

[4号機][5号機][6号機]特に変化なし

<その他>

・10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵の飛散防止を目的として、5, 6号機滞留水浄化の水を利用し、散水を継続実施中。

・12/10 9:00～10:30 大型クレーンによる3号機原子炉建屋上部のダストサンプリングを実施。

以上